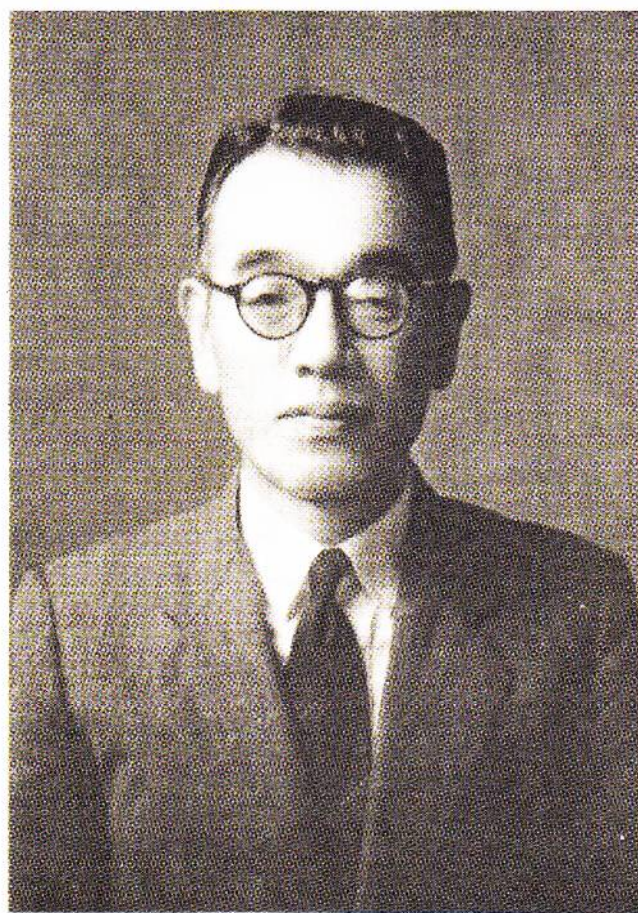


耳が聞こえなくても…
言葉が話せなくても…



「そのままでもいいよ」

そんな村長さんがいました。

実話が絵本になります。

「そのままでもいいよ」～ろうあの村長さん～

2012.7 発売 一冊 ¥900

発行：故横尾義智氏を偲ぶ会・おぐろ町内会
(設立15周年記念集)

絵本制作ブログ▶



絵本「そのままでいいよ」注文書

1

注文書をご記入の上、
下記お申込先までFAX
または郵送してください。

2

ゆうちょ銀行口座または
お申込先へ900円×冊数
+送料をご納入ください。

3

代金納入が確認でき次第、
1週間以内にご送付いたします。
※届かない場合は早めにご連絡ください。

振込先

- ・ゆうちょ銀行 振替口座 口座番号 00540-8-69961
(安塚郵便局) 普通口座 口座番号 11240-30898211
 - ・口座名: 故横尾義智氏を偲ぶ会設立15周年記念集会
- ※振込手数料はお客様のご負担となります。

送料

1冊	100円
2冊	200円
3冊	350円
4冊～9冊	450円
10冊以上	550円

お申込先

おぐろ町内会 八木勇二

〒942-0541 新潟県上越市安塚区小黑 1241-3
E-mail ryouzann@joetsu.jp

または

NPO 雪のふるさと安塚

〒942-0411 新潟県上越市安塚区安塚 777
安塚コミュニティプラザ内 TEL 025-592-2004

TEL・FAX 025-592-2382

FAX 025-592-3540

お 名 前	
ご 住 所	〒
TEL/FAX	
メールアドレス	[パソコン・携帯] ※どちらかを○で囲んでください。
申込冊数・代金	@900円 × 冊 + 送料 円 = 合計 円
納 入 方 法	① ゆうちょ銀行振込 ② 直接納付
連 絡 事 項	※お問い合わせや連絡がございましたらご記入ください。

事務局記入欄

※ここには何も
書かないでください

納入確認

発送日:

年

月

日

(備考)

担当者印

全国初の聾唖村長 横尾義智 (1893-1963)



『小黑むらおさ』より

行野に生まれる

横尾義智は、1893年（明治26）行野村（現・安塚区行野）の大地主であった横尾義周とサトの長男に生まれました。生来、義智には「聞こえない」「話せない」のハンディがありましたが、両親はできる限りの教育を身につけさせました。1903年（明治36）、義智は官立東京聾唖学校尋常科（現・筑波大学付属聾学校）に入学、1910年（明治43）に図工科を卒業しましたが、その後も岸浪柳溪に師事して絵を学びました。

塩崎里子と結婚する

1915年（大正4）3月、義智は父の死去により家督を相続し、翌年5月には安塚銀行創業の発起人塩崎貞佐久の四女里子と結婚しました。里子は指話術（現在の手話）を学び、夫との意思疎通に努め義智の活躍を生涯支えました。

小黑村信用組合をつくる

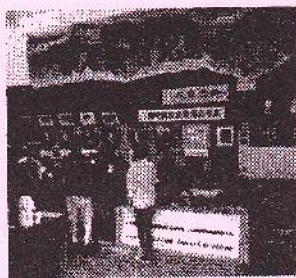
1920年（大正9）7月、義智は小黑村長の滝沢義親らと小黑信用購買販売利用組合を設立しました。この組織は村内農家の経済的安定を図り、農業倉庫を作り米の自主管理を行いました。義智は組合長として、制度が変わり農業協同組合になるまで、29年間在職しました。

小黑村長として活躍する

1934年（昭和9）2月、義智は全国初の聾唖村長となりました。同年の大凶作に対しては、備蓄米19トンの放出、さらに県庁への陳情により政府米の貸与を受けました。救農土木事業では小黑川護岸工事などを県に申請、村独自では村道改修工事に着手するなど成果をあげました。以後、12年間の任期中村民の救済に全力を注ぎました。

また、義智は昭和初期から日本聾唖協会の専務理事として、全国をまわり就職面の差別、待遇改善に努めました。戦後も福祉事業の向上に数々の功績を残し、1963年（昭和38）、69歳で亡くなりました。

現在、生誕の地には地元住民により横尾義智記念館が作られ、彼の偉業が顕彰されています。



横尾義智記念館（安塚区）